

令和2年度「学ぶ力」育成プログラム

学校番号：33013

学校名： 札幌北中学校

改訂のポイント		○課題探求的な学習を取り入れた授業の工夫を行い、生徒が主体的に問題を解決する力を育成する ○基礎的・基本的な知識、技能の定着を図るとともに「学習習慣づくり」と「学習環境づくり」の推進		
項目名	項目内容	項目内容の具体		
目標	「学ぶ力」の育成に係る目指す子ども像	☆基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る生徒 ☆自ら疑問や課題を持ち、主体的に問題を解決しようとする生徒 ☆学習方法を身に付け、わかる喜び・できる喜びを実感できる生徒		
「学ぶ力」に関する成果や課題	学ぶ意欲	【昨年度の具体的な取組】 オリエンテーションはもちろん、定期的に授業への取組方や学習方法に関する指導を行い、各自が目標を持てるようにした	【成果】 ⇒同じ間違いを繰り返さないよう気をつけている生徒が90%前後いる (1年88.4% 2年87.3% 3年90.5%)	【課題】 ◇授業内容の理解や授業中の意欲を計画的な家庭学習への意欲へつなげること
	思考力・判断力・表現力等	【昨年度の具体的な取組】 授業をはじめ、いろいろな場面で人の意見を聞くことをしたり、自分の考えを述べる機会を増やした	【成果】 ⇒人の意見を聞いて自分の考えを見直すことができる生徒が学年を増すごとに多い (1年84.7% 2年90.0% 3年92.7%)	【課題】 ◇授業中に積極的に発言する生徒の割合はまだ低いので、これからも働きかけが必要
	基礎的・基本的な知識及び技能	【昨年度の具体的な取組】 単元テスト、ワーク、家庭学習課題などを計画的に取り組みせ基礎的知識・技能の定着につとめた	【成果】 ⇒単元テストへの取組や課題の提出など、一定の効果はあった	【課題】 ◇提出をすることが目的となりがちな生徒が多く、学力の定着を図るためにも課題の与え方に工夫が必要
改善策(取組)	取組の最重点	【取組の共有】 基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るとともに、課題解決に向けた追究場面における、対話的・協働的な活動を重視した授業を通して、思考力や表現力(言語能力)の伸長を図る		
	具体的な改善策(取組)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学年単位による学習会を実施することで、学習意欲を喚起するとともに、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る ○ 研修内容の全体周知を深め、教科内での研修の充実を図る。特に、教科内での対話的・協働的な活動を取り入れた授業づくりと実践交流を行い、参観記録用紙を記入し、参観者・授業者による検証する。その後校内研修会により、課題解決に向けた取組を全員で共有し、共通実践できるようにする ○ 道徳の授業において、他者の意見を聞いて多様な考え方に触れる機会を多くするなど道徳の授業のあり方を全教員で共有し、全校研で公開授業を行う 		
検証の方法	各種調査や子どもの自己評価指標の活用	○全学年による札幌市全体の共通指標アンケートの活用 ○全国学力・学習状況調査の活用 ○学校評価アンケート(生徒・保護者・教職員)、学校関係者評価の活用		